

社会と自分の関係を見つめる

山口 満

アレセイア湘南高等学校

実践教科：LHR・5～6時間

対象学年：高校2年生 対象人数：28人

(1) 実践の目的

価値観の多様化が進む日本社会の中で、社会生活を前向きに送れない若者が多いことが気になっている。そこで平和学習を取り入れながら進路学習を進めることで、社会との関わりを感じ、社会に関わる意識を持たせ、社会生活を前向きに送ろうとする姿勢の意識付けを行いたい。

平和学習の目的を、ここでは生き方を見つけることとする。なぜならば、社会の中で生活を営んでいる以上、我われの人生はその社会から切り離して考えることはできない。そのため、生き方を見つけるためには、その社会を受け入れ、その社会の中で一人の参加者として自立していく姿勢を持たなければならない。

そこで、仕事から社会を考え、社会と自分の関係を見つめ、豊かな社会があるからこそ、多様な価値観を認めることができることを示したい。そして、多様な価値観を社会が受容できるからこそ、多様な生き方ができるのである。また、その豊かな社会とは、どこかから与えられたものではなく、長い年月をかけて作り上げてきたものであり、我われはその社会の中で育てられ、その我われが将来を築いていかなければならないという実感を持ってもらいたい。

昨今の経済状態の悪さから、学校教育における進路学習というと、いたずらに現実の厳しさだけが強調され、日本社会との関わりをとらえられずにいる生徒が少なくないのではないかと。日本社会との関係を捉え、社会を受け入れていくためには、社会に受け入れてもらう経験も必要である。しかし、その経験をなかなか味わえない社会に生きているため、社会生活を前向きに送れなくなっている側面を強く感じる。だからこそ、平和学習を取り入れた進路学習を進めていきたい。

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限 仕事とは何か 5人の若者の生き方を紹介	(1) 仕事に対する意識調査 (2) さまざまな生き方の紹介	・仕事に対するアンケート実施 (資料1) ・NHKスペシャルのビデオ
2時限 仕事はお金を稼ぐためのものか?	(1) アンケートの集計結果を示す (2) さまざまな職業が存在するという社会を世界の国々から挙げてみる	・ビデオで紹介した5人の生き方とアンケートの集計結果、質問の回答用 (資料2)
3時限 ジンバブエ社会の紹介	(1) ジンバブエの紹介 (2) ビデオで紹介した社会で、希望する職業が存在すると思うか考えさせる	・オリジナルビデオ ・質問と回答用紙 (資料3)
4時限	(1) ジンバブエ社会の教育制度・就学率・	・外務省のHPからの資料

ジンバブエ社会と日本社会	失業率などを講義	・ 協力隊員にいただいた資料
5時限 社会をつくる	(1) 希望する職業を中心に置き、その職業が存在するにはどういうものが必要か。また、その職業に就くために何が必要かを考えさせる。	・ 条件が書かれている用紙 (資料4)
6時限 社会と自分の関係を見つめる	(1) 社会は、人々が長い年月を通して作り上げてきたものである。それはこの先も同じであることを説明。 (2) 進路希望調査	・ 進路希望調査用紙

1時限

まず「進路を考える」と題したアンケート用紙を配布し回収する。その後、日本社会における若者の生き方をビデオで紹介した。

課題：若者の生き方の紹介は、特徴のあるわかりやすい生き方をしている人たちである。それをどういう意図で見せていくのか明確にしておく必要があった。

2時限

5人の若者の生き方を簡単に振り返る。アンケート結果をまとめると、「仕事はお金を稼ぐためのもの」と考えている生徒が多かった。しかし、一方で「とりあえず働くことはしたくない」と考えている人も多かった。そこで「仕事はお金を稼ぐためのもの」という考え方だけでよいのだろうか、という問いから我われの生活と社会の関係について展開していった。

日本にはさまざまな職業が存在することを紹介し、そのようにさまざまな職業が存在する国を世界の国々から挙げ、なぜそれらの国はそのような社会を実現することができたのか考えさせた。

3時限

ジンバブエ社会の様子をビデオで紹介した。そして、その社会で自分の希望する職業に就くことができるか考えさせた。

課題：現地で録画してきた映像を使用。時間の制約もあるため、ジンバブエの一面しか映し出されていない状況で、ジンバブエ社会をイメージさせてしまっている。また、ジンバブエ社会で希望する職業に就けるか考えさせたが、最初から貧しい社会の代表例として扱っている。ジンバブエの人々の方が明るく陽気に、日本の人々の方が暗く苦しんで生きている側面もある。そこで、豊かさと貧しさとは何か、選択肢が拡大することとはどういうことか、など考える時間を設けるとよかった。

4時限

日本と比較するとジンバブエ社会では、自分に力があるかどうか、努力するかどうかにかかわらず、人生における選択肢が著しく制限されてしまう現状を教育制度、就学率、失業率などから

講義した。

5時限

我われの生活は社会とともにあり、社会という枠組みの中で育っていることに気づかせることを目指した。そこで希望する職業を中心に描き、その職業に就くためにこれまでどのような教育を受け、今後どのような場所が必要であるのか、さらに社会生活を行っていく上で必要な施設を書き込んでいく形で進めていった。

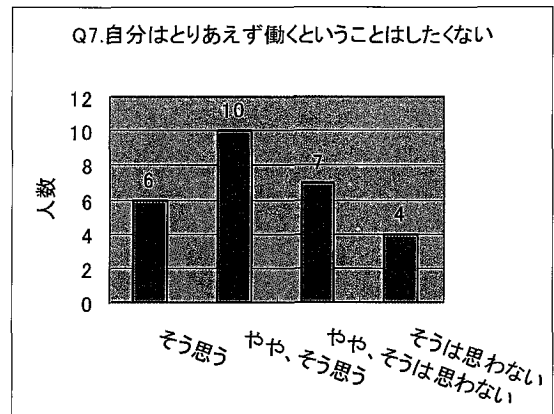
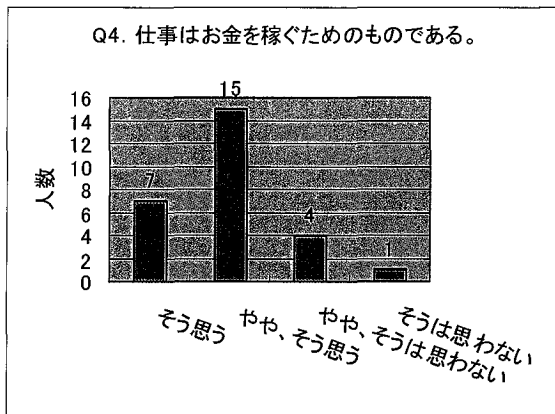
課題：社会作りの時間では、生徒は楽しそうにやっていたが、時間が少なかったことと、こちらの意図を十分に理解させることができなかつたため、単なる町づくりになってしまった。

6時限

社会は天から降ってきたものではなく、長い年月をかけて人々が作り上げてきたものである。自分の置かれている環境に対して不満を抱くことが多いが、その環境を受け入れその社会の中でどのように生きていくのかを、探していく姿勢を持つことを望んでいる。最後に進路希望調査を実施。

- Q1. 自分は、就きたい仕事がある。
 1 ある 2 少しある 3 ない
- Q2. 勉強よりも、早く働きたい(就職したい)。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q3. 仕事はお金を稼ぐためのものである。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q4. 仕事はやりたい事(自己実現ができる仕事)をすべきだと思う。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q5. 自分は、「とりあえず働く」ということはしたくない。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q6. フリーターという生き方もあって良いと思う。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q7. 仕事よりも、毎日の生活を大切にしたい。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q8. 自分が生きたいように生きることが幸せだと思う。
 1 そう思う 2 やや、そう思う 3 やや、そうは思わない 4 そうは思わない
- Q9. 仕事をする意味とは、何だろうか。

<仕事に対する意識調査の結果>



(資料2) <さまざまな職業>

- ・ 夢を追う生き方(歌手としてデビュー、スポーツ選手、トレーナー・・・)
- ・ 自然の中でのんびり暮らす生き方(山の中に入って炭焼き、沖縄に移り住む)
- ・ デイトレーダー(株の売買を通じてお金を稼ぐ)
- ・ サラリーマン(企業に就職する、公務員になる)
- ・ 医師、看護師、介護福祉士、弁護士、会計士
- ・ 美容師、理容師、スタイリスト
- ・ 教師、保育師
- ・ 整備士

- ・ 調理師、パティシエ
- ・ _____ (←自分の希望する職業が上になれば、どうぞ)
 などなど、・・・・・・・・・・。

Q1. 上記のような職業が存在すると思う社会を、世界の国々から挙げてみよう。

アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、日本、韓国、スペイン
 中国、ロシア、オーストリア、オランダ、ニュージーランド、フィンランド
 インド、ブラジル、ハンガリー、トルコ、カナダ、オーストラリア、インドネシア
 スイス、ポルトガル、スコットランド、アイスランド 計25カ国

Q2. Q1で挙げた国々は、どのような国であるといえるでしょうか。

先進国 人口が多い 戦争で植民地にならなかった国 よく聞く国
 普通に食べ物を食べていける国 お金を持っていそう ある程度自立している国
 貧しそうじゃなさそう 技術やお金を使って上を目指そうとしている国
 世界に働きかけるような いろいろな技術や考え方が出てくる国
 モノが豊富 文明が進んでいる 企業の活動が盛んで活発な国、
 経済が発達している国

Q3. Q2の答えに関連して、なぜそのような社会になることができたと思いますか。

努力したから 世界各国の考え方を応用してその国々で発達させていったのでは？
 経済が発展した結果趣味や遊びが発展したから 働く人が築いてきたから
 いろいろ開発してお金をもらったため 豊かだから 加工するものがなくて技術を
 きたえたから 戦争があったから やりたい事を実行に移した 気候が安定してい
 る 外国との交流が盛ん 子どもの頃から学校に行くことができる 食べ物がたく
 さんある 何とかしようと思えば何とかなる生活環境 いろいろな国と交流してい
 いとこ取りをして豊かになってきたと思う みんなが頑張ったから 少しでも国を
 豊かにしようとしたから たくさんの犠牲を払い今の豊かな国がある

(資料3)

Q2. ジンバブエの社会で、あなたの希望する職業に就けるとおもいますか。理由も含めて答えてください。

幼稚園教諭になりたい生徒
 「どこの国にも子供はいるからきっと就けると思う。」
 整備士になりたい生徒
 「あのボロボロの車とエンジンでは無理ですね。」
 職業は未定の生徒
 「就けると思わない。あの環境を見ればわかる。だけど諦めなければ大丈夫だと思う。」

(資料4) <社会をつくる>

あなたは「未来都市」の市長さんになりました。「こんな社会に暮らしたい」という理想の社会を思い描いてください。その際、次の目標を持って社会づくりを行ってください。

- ・あなたが希望する仕事に就ける社会づくりを目指す。(中央に就きたい職業を記入)
- ・より多くの人々が希望する仕事を見つけることができ、且つ意欲をもって仕事に取り組める人が多い社会づくりを目指す。

*何かを作るとき、それが人々にどうして必要であるのか簡単な理由を明記する。

例)

車

 移動に便利だから